

# 就学援助の入学準備金の拡充について、申し入れ!!



区政区議会報告・地域情報を週刊で発行しています  
**日本共産党荒川区議員**  
**小林行男**  
 ご意見をお寄せください

区政ニュース

NO. 735  
 2019. 7. 7  
 区議会控室  
 TEL 3802-4627  
 FAX 3806-9246  
 Email: arajcp@tcn-catv.  
 ne.jp  
 ホームページ  
<http://www.tcn-catv.ne.jp/~jcpa/>  
 東尾久相談室  
 東尾久2-37-3  
 TEL・FAX  
 3895-0508



7/1 教育長に申し入れを行う

日本共産党区議団は、7月1日、荒川区に対して申し入れを行いました。  
 生活保護世帯の就学援助の入学準備金は小学校が40600円から63100円、中学校は47400円から79500円に引き上がりました。  
 主要保護世帯（就学援助を利用して居る家庭）に対しても千代田区、新宿区、文京区、中野区、豊島区、世田谷区、葛飾区、北区など、この春の支給分から生活保護世帯と同額支給を始めています。  
 新入学時にはランドセルや制服など多額の費用がかかり、負担軽減は多くの保護者の切実な要望の一つであり、これまでも引き上げが行われてきました。

都区財政調整で入学準備金の算定単価が国の生活保護基準に合わせて引き上がる方向だと言われています。荒川区としても、主要保護世帯についても要保護世帯と同額に引き上げ、今年度に支給した分から前倒しで支給する決断を求めます。

## 「赤ちゃん泣いてもいいよ」WEラブ赤ちゃんプロジェクト 荒川区も参加を



エッセイスト柴原明子さんの呼びかけにより、2016年5月5日に「weラブ赤ちゃんプロジェクト」が発足。赤ちゃんの泣き声を温かく見守っている人たちがいることを可視化するステッカーを作りました。世田谷区が賛同して、6月から区役所等の区施設や協力企業にステッカー付きのチラシを置き普及しています。また、缶バッジやキーホルダーを民生委員さんなどにつけてもらい「泣いてもいいよ」を広めています。



「荒川区も参加を」とわが党の相馬ゆう子議員が本会議で提案しました。区は「子育て応援店が47店に広がり、同じ気持ちで取り組んでいる」として参加表明は残念ながらありませんでした。引き続き発信していきたいと思えます。

## 参議院選挙期日前投票は・・・

期日前投票所
荒川区役所
南千住駅前ふれあい館
荒川ふるさと文化館
町屋文化センター
シルバー人材センター
荒川遊園スポーツハウス
日暮里区民事務所

参議院選挙が7月4日公示され、21日投票ではじまりました。  
 期日前投票は、区内7箇所(左)で行います。



荒川区役所では、5日から20日の間、  
 午前8時30分から午後8時までです。

また、他の6ヵ所は14日から20日まで時間は区役所と同様。  
 ※期間中は土曜、日曜、祝日も投票ができます。

## 法律相談会



毎月第3火曜日（午後6時から）北千住法律事務所の弁護士による法律相談会をおこなっています。  
 できるだけ事前にご連絡ください。7月の相談会は都合により下記の日程で行います。

**7月の相談会は、  
 7月30日（火）**

尚、お急ぎの方は、弁護士事務所と連絡して、ご相談できますのでお気軽に声をかけてください。

## 8050問題 (中高年の引きこもり)



# さらなる取り組みの強化を!

練馬の事件後、引きこもりの人が「犯罪予備軍」であるかのような報道や「なぜここまで放置したのか」と家族を責めるバッシングに当事者や家族は不安を大きくしています。

内閣府が3月に公表した40歳~60歳の「引きこもりの中高年者」の数が推計61万人に上るとい調査結果を発表した。前回の調査では15歳から39歳までの推計は54万人。中高年の引きこもりが若者層よりも多いという衝撃的な数字でした。

「今の40代を中心に就職氷河期時代を体験し、不本意な就職をして不安定な雇用状態のまま過ごしてきた方も多く、社会的に孤立するきっかけを多くもっている。また、ひきこもるきっかけは、学校や就職だけでなく何十年も働いてきた中で途中でつまづいてしまったり、親の介護のために仕事をやめてしまったりした人などいろいろな人が含まれている。」といわれています。

40才を超えるひきこもりの子どもを抱える親たちは、「子どもの今後を考えると不安だらけ、夜も眠れない」と深刻な状況をかかえ、親があせって接すると子どもも敏感に感じて余計、不安定な状況を作ります。ひきこもりを抱える親たちのケア・支援がまずは大事ではないでしょうか。

6月24日の本会議質問で私は、①専門家を配置した、引きこもり相談・支援専門窓口を設け、広く周知し相談に応じること。②第二に保健、医療、福祉、教育、親の会をはじめ各種NPO団体などのお互い顔の見える連携できる体制・ネットワークをつくることを求めました。

## 荒川たびだちの会

「荒川たびだちの会」では、ご家族やご本人がお互いの悩みを共有し、お互いに声を掛け合う形で月例会を開催しています。八方ふさがりで悩んでいる方は、吐き出してみませんか。ご一緒に一歩を踏み出しましょう。

### 月例会

第4土曜、午後1時30分から4時30分

社会福祉協議会会議室

1回500円(当事者は無料)

[問合せ] 生涯学習課 地域学習支援係

電話 5615-4884

(荒川区ホームページより)

※会場は「社協」が提供し、保健師さんも参加し励ましています。



## 区役所・本庁舎喫煙所を廃止し

### 荒川公園内に移動式トレーラー型を整備



6月末で区役所本庁舎1階東側入り口付近に設置されている喫煙所が廃止になりました。その後は9月設置予定で、電源コネクタ着脱随時かつ任意に移動可能なトレーラー型屋内喫煙所を荒川公園内に設置することになりました。

移動式トレーラー型喫煙所

整備費は1000万円(都補助10/10)

区は、職員のみなさんに勤務中の喫煙自粛を徹底し、禁煙を希望する職員への支援メニューを検討中。

## 収入「年金のみ」半数

### 高齢者世帯・国民生活基礎調査

7月2日、厚生労働省は2018年の国民生活基礎調査の結果を発表。年金や恩給をもらっている高齢者世帯について、これらの収入が総所得の100%を占めると答えた割合は51.1%と約半数。(恩給受給者はごく少数)



保険料を40年納めても月65000円の国民年金(基礎年金)など暮らせない年金の方も多くいらっしゃるのではないのでしょうか。その年金が黙っているとどんどん減っていく制度はごめんです。

「減らない年金」へ抜本的な改革が必要ではないのでしょうか。



○九州南部での大雨、気象庁が「命を守る避難を」と呼びかけました。例年の7月の一か月の雨量を1日で超える記録的大雨になるおそれがあるといわれています。大雨による災害が全国各地で起こるようになってきています。イザという時の備えをしっかりとっておきたいものです。

